

公示番号：180336

国名：インドネシア

担当部署：農村開発部農業・農村開発第一グループ第一チーム

案件名：熱帯荒廃草原の植生回復を通じたバイオマスエネルギーとマテリアル生産プロジェクト中間レビュー調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2018年11月上旬から2018年12月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.45M/M、現地 0.57M/M、合計 1.02M/M
- (3) 業務日数：準備期間 現地業務期間 整理期間
4日 17日 5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：10月17日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>公告・公示情報／結果>コンサルタント等契約案件公示（業務実施契約（単独型））>業務実施契約（単独型）公示にかかる応募手続き）

(<https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/procedure.pdf>) をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルはJICAで評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2018年10月30日（火）までに個別に通知します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
- (2) 業務従事者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点

(計100点)

類似業務	農業分野に係る各種評価調査
対象国／類似地域	インドネシア／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。
- (2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

インドネシアの実質GDP成長率は、2011年6.5%、2012年6.3%、2013年5.8%と順調に推移している。2013年の産業構造（対GDP比）では、サービス業が39.9%、工業45.7%、農業14.4%となっており、工業化の進展の中でGDPに占める農業の比率は低いながらも、全就業人口に占める農業従事者の割合は40%強であり、農村を中心に引き続き農業の占める割合は大きい。

また、同国は広い国土、豊富な降水量、火山灰土壌による肥沃な土地、適度な生育適温等といった条件を有し、農水産業における生産ポテンシャルは高い。保有する熱帯林の面積は1億2300万ha（全世界の熱帯林の約10%）であり、世界第3位の森林資源を有している。また、熱帯森林の構成は極めて豊かで、沿岸域のエコシステム保全や炭素固定、周辺水域の水質浄化、防災等といった多様な機能を有するマングローブ林は、世界第1位の面積を保有している。更に、世界の約20%に相当する約325,000種の野生動植物が生息・生育しており、生物多様性の観点からも熱帯森林資源の保全と回復は重要な位置付けである。

熱帯資源を管轄するインドネシア林業省の5か年計画（The Ministerial/Institutional Strategic Plan of Forestry Department 2005-2009）では①違法伐採と関連貿易への対処、②森林セクター、特に木材産業の活性化、③森林資源の復旧と保全、④森林周辺の地域社会経済の強化、⑤持続可能は森林経営の推進と強化の5大優先政策が打ち出されている。

また、気候変動対策に関連する温室効果ガス（GHG）排出量の削減や二酸化炭素のカーボンニュートラルの観点では、2011年時の温室効果ガス（GHG）排出量（森林喪失や泥炭地荒廃等を含む）は中国、米国、インド、ロシアに次ぐ世界第5位といわれており、2020年までにGHG排出量を26%削減する国家目標を挙げている。

インドネシアでは1970年代前半に始まった大規模な森林開発による熱帯林の伐採や、無秩序かつ短期間に繰り返される焼畑耕作等の影響により、1990年から2007年までの17年間で年間平均187万haの森林面積が失われている状況にある。このまま森林の減少が推移すれば、2022年までに巨大な森林区域を有するスマトラ島、カリマンタン島の98%の森林が消失すると警告されている。熱帯林伐採や焼畑耕作により生じた荒廃未利用草原はアランアラン荒廃草原と言われ、インドネシアを含む東南アジアで広範囲に存在する。

「熱帯荒廃草原の植生回復を通じたバイオマスエネルギーとマテリアル生産プロジェクト」（以下、本プロジェクト）は、京都大学生存圏研究所を日本側代表研究

機関、インドネシア科学院を相手国側代表研究機関として実施する「地球規模課題対応国際科学技術協力（以下、SATREPS）」案件として、2016年7月から2021年7月まで5年間の予定で実施中である。本プロジェクトは、アランアラン荒廃草原のバイオマス生産地への転換と資源エネルギー生産を行うための技術を開発することを目標とし、ボゴール農科大学やその他研究機関と連携して、①アランアラン荒廃草原回復エコシステムの確立、②高発熱型バイオマス植物の開発、③イネ科植物を原料とした低環境負荷型木質材料の開発の技術の確立を行うものである。

今回の中間レビューでは、協力期間の中間時点となる2018年11月に、最新PDM及び活動計画に基づき、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度を調査・確認し、問題点を整理するとともに、プロジェクトチーム、インドネシア側関係者とともに評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から評価し、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性を確認し、必要に応じ改善に向けた提案を行うことを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）プロジェクト実施の手引き」、「JICA 事業評価ハンドブック（Ver. 1.1）」に沿って、本プロジェクトの当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目を確認するために、必要なデータ・情報を収集・整理し分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

（1） 国内準備期間（2018年11月上旬）

- ① 既存の文献、報告書等（事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- ② 最新のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③ 評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P機関、その他インドネシア側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（英文）を作成する。
- ④ 調査団内の打ち合わせ、対処方針会議等に参加する。

（2） 現地派遣期間（2018年11月上旬～11月下旬）

- ① JICA インドネシア事務所等との打合せに参加する。
プロジェクト関係者に対して、本中間レビュー時の評価手法について説明を行う。
- ② インドネシア側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ③ 収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出す

る。

- ④ 国内準備並びに上記②及び③で得られた結果をもとに、他の調査団員及びインドネシア側 C/P 等とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、中間レビュー報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。
- ⑤ 調査結果や他団員及びインドネシア側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び P0 の修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
- ⑥ 中間レビュー報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑦ 協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- ⑧ 担当分野に係る現地調査報告書（和文・英文）を作成し、団内に共有し、JICAインドネシア事務所等に報告する

（3）帰国後整理期間（2018年11月下旬～12月上旬）

- ① 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
- ② 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ③ 担当分野に係る中間レビュー調査報告書（案）を作成する。

8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

（1）業務完了報告書

合同中間レビュー報告書（英文）、担当分野に係る中間レビュー評価調査報告書（案）（和文）、評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を参考資料として添付し、電子データをもって提出すること。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

を参照願います。留意点は以下のとおり。

（1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みませ（見積書に計上して下さい）。

航空経路は、日本⇒ジャカルタ⇒日本を標準とします。

10. 特記事項

（1）業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2018年11月7日～2018年11月23日を予定しています。

本業務従事者は、JICAの調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括（JICA）

イ) 協力企画（JICA）

- ウ) 科学技術協力評価 (JST)
- エ) 評価分析 (本業務従事者)

③ 便宜供与内容

JICAインドネシア事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舎手配
あり
- ウ) 車両借上げ
あり
- エ) 通訳傭上
必要に応じて英語⇄インドネシア語の通訳を提供
- オ) 現地日程のアレンジ
JICA がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
なし

(2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料を JICA 農村開発部農業・農村開発第一グループ第一チーム (TEL:03-5226-8419) にて配布します。
 - ・「熱帯荒廃草原の植物回復によるバイオマスエネルギー生産と環境回復プロジェクト¹」詳細計画策定調査 (評価分析報告書)
 - ・PDM (最新版)
 - ・第1回・第2回・第3回・第4回プロジェクトモニタリングシート
- ② 本業務に関する以下の資料がJICAのウェブサイトで公開されています。
 - ・事前評価表
(https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2015_1500642_1_s.pdf)
- ③ 本契約に関する以下の資料をJICA調達部契約第一課にて配布します。配布を希望される方は、代表アドレス (prtm1@jica.go.jp) 宛に、以下のとおりメールをお送りください。
 - ア) 提供資料: 「独立行政法人国際協力機構情報セキュリティ管理規程」及び「情報セキュリティ管理細則」
 - イ) 提供依頼メール:
 - ・タイトル: 「配布依頼: 情報セキュリティ関連資料」
 - ・本文: 以下の同意文を含めてください。
「標記資料を受領した場合、プロポーザル作成に必要な範囲を超えての使用、複製及び第三者への提供は行わず、プロポーザル提出辞退後もしくは失注後に速やかに廃棄することに同意します。」

¹ 詳細計画策定調査実施後に現行のプロジェクト名に変更したため、報告書のプロジェクト名は旧称です。

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA インドネシア事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地作業中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。なお、現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者を登録してください。
- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」
<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf> の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。
- ④ 本業務にかかる契約は「業務の完了を約しその対価を支払う」と規定する約款を適用し、国外での役務提供にかかる対価について消費税を不課税とすることを想定しています。

以上